

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成19年8月20日 第22号

CONTENTS

1 コラム

【1】『後世に美林を残す』（岡田林政課長）

2 施策紹介

【1】平成18年の特用林産物の生産動向

3 当庁の動き

【1】平成18年度松くい虫被害について

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

5 その他に関する情報（イベント情報等）

イベント情報

【1】子ども霞が関見学デー

【2】2007全日本山岳写真展

お知らせ

【3】「美しい森林（もり）づくり全国推進会議」構成団体の取組紹介

【4】「緑の募金」にご協力を！！

【5】平成19年度グループ対抗里山デジカメ選手権

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 コラム

【1】『後世に美林を残す』（岡田林政課長）

今月より趣向を変えて、毎回違ったテーマでコラムを掲載します。

今回は、岡田（おかだ）林政課長より『後世に美林を残す』と題して、先日行われた世論調査についてお話しします。

先日、内閣府の世論調査で地球温暖化防止の役割が、森林に期待する役割の第一位となりました。今までは、災害防止が第一位でしたので、国民の地球温暖化問題への関心が高まっていることを示すものと言えるでしょう。

ところで、「美林」という言葉があります。「すばらしい林」ということを意味する言葉です。

この「すばらしい」ということの意味には、その時代それぞれの人たちにとって様々なものがあります。

木材の生産という点で、真っすぐで節の少ない木材がとれる森林を言うこともあったでしょうし、また、雨水をゆっくりと川に流し、水田の水不足を防いでくれる森林という意味で使う人もいるでしょう。このように「美林」に込める思いは、時代、場所によって違って来るでしょうが、森林づくりには長期を要します。

温暖化防止という現代の国民ニーズもしっかり捉えつつ、森林にはいろいろな役割があることを考えて、それぞれの役割が十分に果たせるように長期的視点に立って、森林づくりを進め、そして「美林」を残してもらった次世代の人たちに感謝される、そういう努力が大事だと思っています。

「後世に美林を残す」努力の大切さを今更ながら思った次第です。

2 施策紹介

【1】平成18年の特用林産物の生産動向

特用林産物とは、食用とされる「しいたけ」、「えのきたけ」、「ぶなしめじ」等のきのこ類、樹実類、山菜類、非食用のうるし、木ろう等の伝統的工芸品原材料及び竹材、桐材、木炭等の森林原野を起源とする木材以外の生産物のうち一般用材を除くものの総称です。

林野庁は平成18年度の特用林産物の生産動向を取りまとめ、公表しました。

特用林産物の大半を占めるきのこ類の生産量についてみると、乾しいたけは、前年より減少、生しいたけは横ばい、ぶなしめじ、エリンギ、まつたけは増加しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h19-8gatu/0809tokusan.html>

3 当庁の動き

【1】平成18年度松くい虫被害について

林野庁は平成18年度の松くい虫被害について取りまとめ、公表しました。

平成18年度の全国の松くい虫被害量は、平成15年度以来4年連続で減少し、前年度比約5万立方メートル減の約64万立方メートルとなりました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h19-8gatu/0807matukui.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

森林ボランティアに関するパンフレットができました！
森林ボランティア活動を行いたいけど何をしたらいいの？
どこに問い合わせたらいいの？
という時のためのパンフレットができました。
((社) 国土緑化推進機構作成)

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.green.or.jp/volun/about/volun_pamphlet.pdf

森林ボランティア活動の情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。
(社) 国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。(国土緑化推進機構ホームページ)

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

5 その他の情報 (イベント情報等)

イベント情報

【1】子ども霞が関見学デー

今年も各府省庁が連携して、8月22日(水)と23日(木)の2日間「子ども霞が関見学デー」を実施します。

農林水産省においてもゲーム、クイズ、紙芝居、工作、各種展示等、各部局庁が数々なイベントを用意して、皆様の御来場をお待ちしております。

林野庁では、木工教室や森林の働きを説明したビデオの上映等を行います。

具体的内容

もっと身近にバイオマス(クイズにチャレンジ！)

あなたのコマは、回っている？(食事バランスをチェック！)

体験！園芸教室！(野菜・くだものの重さを当ててみよう！)

かすみがせき木工教室

(木のコースターや、かわいい小枝のキーホルダーを作ってみよう！)

他イベント多数

開催日 平成19年8月22日(水)・23日(木)

場所 農林水産省本館7階講堂(東京都千代田区)

詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/www/press/2007/20070810press_2.html

【2】2007全日本山岳写真展

全日本山岳写真協会は、毎年、協会会員の作品と全国の小中校生及び一般の山岳写真愛好家の作品を一堂に展示し、山岳・風景写真の文化普及と自然を守る警鐘とすることを目的に写真展を実施しています。

開催日 平成19年9月4日(火)～9月9日(日)

場 所 東京芸術劇場5階展示ギャラリー

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.linkclub.or.jp/~p-kaneko/kane41c.html>

お知らせ

【3】「美しい森林(もり)づくり全国推進会議」構成団体の取組紹介

林野庁情報誌「林野」にて「美しい森林(もり)づくり全国推進会議」構成団体の取組を紹介しています。

8月号は、日本環境教育フォーラムを紹介しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kouhousitu/johoshi.html>

【4】「緑の募金」にご協力を！！

秋期の緑の募金運動が9月1日から10月31日の2カ月間、(社)国土緑化推進機構や各都道府県の緑化推進委員会の呼びかけにより全国各地で家庭や企業等を通じて行われます。

森林ボランティア活動など国民の自発的な森林整備活動を支援する「緑の募金」は、「美しい森林づくり」に向けた取組の一つとして、大きな期待が寄せられています。

「緑の募金」への皆様の深いご理解とご協力をお願い致します。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/>

【5】平成19年度グループ対抗里山デジカメ選手権

近畿中国森林管理局では、「身近な森林(もり)の再発見！！」をテーマとして、学校、森林ボランティア、企業、家族、友達などのグループが共同作業によって創作したデジタル写真作品を広く募集しています。

撮影対象は、森林の中に暮らす動植物や森林づくり作業・森林環境教育活動など。

審査員は、里山写真家の今森光彦氏ほか。10月2日まで受け付けています。
問い合わせは、近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター
(TEL 075 - 414 - 9049) まで。

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/category_d/d-02/press070724/press070724.html

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

本文でも紹介しましたが、8月22日・23日に「子ども霞が関見学デー」が開催されます。私たち林野庁広報室のメンバーも小枝のキーホルダー作成などのお手伝いをさせていただきます。世界に一つしかない自分だけのコースターとキーホルダーを作ってみませんか？

皆さんのお越しをお待ちしております。

ご意見をお寄せ下さい。

ご意見、ご要望、または、転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室 TEL 03 - 3502 - 8026

E - mail : kouhou_rinseika2@nm.maff.go.jp

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続き及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/mail/henko.htm>

変更にはご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/mail/kaijo.htm>

配信停止の際にはご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記よりご登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/mail/password.htm>